

子宮頸がんを 知りましょう



子宮頸がんは子宮の入り口部分に発生することが多く、婦人科の診察や検査がしやすいため発見されやすいがんです。早期に発見することで比較的治療がしやすいがんですが、進行すると治療が難しいことから早期発見が非常に重要です。毎年約1万人が子宮頸がんにかかり、約3,000人が亡くなっています。(国立がん研究センター)

子宮頸がんは、若年化が目立ち20代～30代に発生することが増えてきています。子宮頸がんはワクチン接種によって予防効果が認められています。ワクチン接種で予防、検診で早期発見をしましょう。



原因

- ヒトパピローマウイルス(HPV)の感染
HPVは性交渉で感染します。多くの場合、免疫によりHPVは自然に排除されますが、排除されずに感染が続くと子宮頸がんの原因になると考えられています。

症状

- 初期の子宮頸がんは全く症状がないことが多く、**検診での確認が重要**
不規則な月経や生理以外での出血、閉経後に出血があるなど、不正出血がある場合はすぐに医療機関で受診しましょう。



子宮頸がん検診は20歳から受けられます

子宮頸がん検診は20歳から2年に1度女性が受けられる検診です。

【検診の流れ】

- ①問診 問診票に月経周期や生理痛の有無など近日の体調を記載します。
- ②視診 膣鏡を膣内に挿入し、子宮頸部を観察します。
- ③細胞診 ブラシやへうなどで子宮頸部を優しくこすり、細胞を採取します。

市は令和4年2月末まで検診を実施しています。予約後、「子宮頸がん検診受診券」(対象者に4月末に郵送済)を持参し受診しましょう。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

※受診券を無くした人は再発行できるので、ご連絡ください



高校1年まで無料でワクチンが受けられます

平成25年から行われていた積極的勧奨の差し控えは終了しました。

小学6年生～高校1年生相当の女子は、子宮頸がんワクチンの定期予防接種の対象で、接種料金は無料です。また、積極的勧奨の差し控えにより、接種機会を逃した人への対応は、今後広報紙やホームページでお知らせします。



ワクチンに関して詳しくは、厚生労働省ホームページをご覧ください。



☎健康課健康推進係 ☎72-6666

あすてらす 健康相談室の案内

健康相談(予約制)、血圧測定、検尿などを行っています。
お気軽にお越しください。☎72-6682 毎週月～金曜日
午前9時～11時 午後1時～4時(あすてらす休館日を除きます)